

# ～学園が創立して113年が経ちました～

－ 令和2年(2020)年9月8日 学園創立記念日 －

学校法人 北海道龍谷学園  
小樽双葉高等学校

本校は、親鸞聖人のみ教えを教育の基本とする浄土真宗本願寺派（西本願寺）の関係学校の一つです。

学園創立のきっかけとなったのは、明治39年7月、当時の本願寺のお裏方（奥様）である大谷籌子の方が来樽されたときに、本願寺小樽別院の仏教婦人会葬会式で、「仏教による心優しい豊かな知性を身に付ける、教育機関を設置することの重要性」を説かれたことでした。参列者は一様に大きな感銘を受け、この翌年の明治40（1907）年9月8日、小樽別院本堂裏の廊下を改修し、「小樽実践女学校」として開校しました。明治44年には現在の校舎へ移転し、平成10年には男女共学となり、平成17年には「双葉高等学校通信制課程」を開設しました。そして昨年度からは校名を「小樽双葉高等学校」とし、さらなる飛躍へと歩んでいます。

今年は新型コロナの影響で、私たちの生活は大きく変化しました。外出制限や自粛生活、マスクや手洗い消毒は自分の命を守る行動となり、自分を取り巻く大切な人を守る行動となりました。仏教には「縁起（えんぎ）」という言葉があります。すべてのものは互いに支えあって存在しているということです。充実した学園生活を送るため、あらゆるものが互いに支えあって、はじめて存在する私、生かされて生きている私であることに気がつき、これからの一日一日を大切に過ごしてもらいたいです。

学園創立の由来を訪ね 感謝の心をもって勉学に励みましょう



【開校当時の集合写真】



【開校当時の校舎】